科目名	臨床解剖生理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Clinical Aspects on Anatomy & Physiology			総時間数	15	単　位	1
学　年	3	学　期	後期	曜　日	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	村上秀明、西川悠里	実務者経験	村上秀明：大阪大学歯学部附属病院放射線科と医学部附属病院放射線治療科にて31年間の臨床経験。西川悠里：大阪大学歯学部附属病院放射線科で5年間、医学部附属病院放射線治療科にて4年間の臨床経験。

学習内容	救急救命士となるにあたって必要な臨床解剖生理学をマスターする。解剖生理学の総復習
到達目標	人体の解剖学的諸構造と生理学的機能について、適切な解剖学用語と生理学用語を用いて具体的に説明できる。

準備学習 時間外学習	受講後に復習と自己学習をする。練習問題を解いて、テキストで確認する。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版（へるす出版）
留意点 備　考	事前に1年次の解剖生理学の復習をして望む

成績評価	試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	人体の構造と機能	人体各部の名称、細胞と体液
2	神経と感覚	能の機能局在、12対の脳神経、自律神経
3	循環	動脈の名称、心拍出量
4	呼吸	呼吸器の構造、胸郭の機能、呼吸の調節
5	消化	胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓の構造と機能
6	泌尿器・皮膚	尿の生成、汗腺
7	血液と免疫	血液の成分、凝固系、非特異免疫、アレルギー
8	テスト	

科目名	産婦人科救急			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Obstetric & Gynecologic Emergencies			総時間数	16	単　位	1
学　年	2	学　期	前期	曜　日	金	時　限	5･6

担当教員	藤田 太輔	実務者経験	【藤田太輔】 2001年4月より現在まで大阪医科大学産婦人科教室に所属し、 産婦人科診療および治療を行う。 2010年より大阪府消防学校 専科教育救急科で産婦人科・周産期について 年2回（計8時間）講義を行っている。

学習内容	産婦人科疾患・周産期疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置・分娩の介助
到達目標	救急救命士として必要な、産婦人科救急への理解、車内分娩の対応など産婦人科領域を習得できる

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版　　）
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験(筆記)

コマ数	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	正常妊娠	正常妊娠について 1.受精と着床,2.胎児,3.胎児付属物,4.妊娠週数,5.妊娠による母体の変化
2	異常妊娠	1.妊娠初期の異常 1)流産/2)異所性妊娠(子宮外妊娠)/3)胞状奇胎 1)切迫早産。前期破水/2)妊娠高血圧症候群/3)子癇/4)HELLP症候群 5)前置胎盤/6)常位胎盤早期剥離/7)子宮内胎児死亡
3	正常分娩 異常分娩	正常分娩の経過について、分娩介助について
4	女性生殖器 疾患	1.骨盤内感染症 2.卵巣嚢腫茎捻転 3.子宮筋腫 4.子宮内膜症 5.卵巣出血
5	新生児の観察 分娩のビデオ実習 【佐野匠先生】	1)気道確保・呼吸促進/2)踏帯切断/3)新生児仮死/4)新生児救急蘇生法/5)新生児の搬送法/6)搬送に必要な備品 3.医療機関選定

6	分娩実習 【佐野匠先生】	分娩シミュレータを使用して分娩介助について
7	近畿救急医学研究会 第152回救急隊員部会講演	院外分娩についての対応について
8	まとめと試験	質疑応答、まとめ 終講義試験の実施

科目名	精神科救急			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Psychiatric Disorder			総時間数	16	単　位	1
学　年	2	学　期	後期	曜　日	土	時　限	5･6

担当教員	喜代平　要一	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士挿管・薬剤認定

学習内容	救急の現場でよくみられる代表的な精神疾患について、症状、診断、治療について学ぶ。 向精神薬の作用や副作用についても学ぶ。
到達目標	症候から精神疾患の鑑別診断ができる。学んだ精神疾患の症状や向精神薬の副作用等について理解し、実際に救急の現場で活用でき、かつ救急救命士国家試験に対応できるレベルに達する。

準備学習 時間外学習	事前にテキストの閲読、講義ごとの復習が必要
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版（へるす出版）
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	精神障害	総論、分類 精神障害原因からの分類/2)精神障害の症状からの分類
2	疫学、主要症候	1)せん妄/2)精神運動興奮/3)昏迷/4)幻覚・妄想/5)躁状態/6)抑うつ/7)不安。 パニック発作
3	基本的対応	1)精神症状への対応/2)自殺企図者・高リスク者への対応/3)精神運動興奮。他害行為への対応
4	統合失調症	1.搬送先の選定、2.医療機関選定と入院形態、気分障害、器質性精神障害
5	中毒性障害	1.アルコール関連障害、2.アルコール依存・乱用と関連が強い身体疾患 3.覚醒剤乱用・依存、4.危険ドラッグ
6	その他の精神障害	1.パニック障害、2.心的外傷後ストレス障害(PTSD)3.解離性(転換性)障害、4.摂食障害、1)神経性無食欲症/2)神経性大食症
7	〃	パーソナリテイ障害1)反社会性パーソナリテイ障害/2)境界性パーソナリテイ障害、6.精神遅滞7.広汎性発達障害、G 向精神薬の主な副作用 1.悪性症候群、2.セロトニン症候群
8	まとめと試験	

科目名	小児救急疾患			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Pediatric Emergencies			総時間数	32	単　位	2
学　年	3	学　期	前期	曜　日	月	時　限	5･6

担当教員	金村　諭司	実務者経験	32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	小児・新生児疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。
到達目標	小児・新生児の特性と分類、生理学的特長、観察と判断・応急処置と搬送法、小児に特有な救急疾患について理解し説明ができる。

準備学習 時間外学習	テキストの用語の読み方や意味を調べておく。 受講後に復習と自己学習をする。過去問題を解いて、テキストで確認する。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版（へるす出版）
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	染色体異常・先天異常	染色体異常・先天異常　の特徴を理解する
2	新生児	新生児疾患とその疾患を理解する
3	代謝疾患	糖尿病、ケトアシドーシス、その合併症の病態を理解する
4	内分泌疾患	副腎疾患、小児の甲状腺疾患を理解する
5	免疫・アレルギー	アレルギーのしくみとその疾患について知る
6	膠原病　川崎病	膠原病や川崎病とその病状を理解する
7	呼吸器疾患	喘息やクループへの対応方を知る
8	感染症　1	代表的なウイルス感染症を理解する
9	感染症　2	代表的な細菌感染症を理解する
10	循環器疾患	先天性心疾患を知る
11	血液・腫瘍疾患	小児の白血病、貧血、固形腫瘍を理解する
12	消化器疾患	新生児から小児の消化器疾患を理解する
13	神経疾患　1	水頭症やてんかん
14	神経疾患　2	熱性痙攣への対応、その他の痙攣
15	小児の成長	小児の成長の特徴を理解する
16	小児の成長	まとめ

科目名	高齢者救急疾患			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Geriatric Emergencies			総時間数	16	単　位	1
学　年	3	学　期	前期	曜　日	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	喜代平　要一	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	高齢社会となり、増加し続ける高齢者の救急搬送に対応できるように高齢者の特徴等を学習する。
到達目標	高齢者の身体所見の特徴と特有の疾患を理解し、説明することができ、国家試験において一般問題だけではなく、症例問題にも十分に対応できる知識を身につける。

準備学習 時間外学習	標準テキストの閲読と予習復習プリントの実施
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版）
留意点 備　考	

成績評価	五肢択一もしくは択二の筆記試験で評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	高齢者の特徴	加齢による身体機能の変化について
2	高齢者の特徴	高齢者の特徴からの現場活動での注意点
3	高齢者に特有の疾患	脳血管障害とそれに伴う症状
4	高齢者に特有の疾患	認知症（アルツハイマー病など）とそれに伴う症状
5	高齢者に特有の疾患	肺炎、COPDとそれに伴う症状
6	高齢者に特有の疾患	虚血性腸炎、前立腺肥大症、廃用症候群とそれに伴う症状
7	高齢者に特有の疾患 外傷	骨粗鬆症、脊椎圧迫骨折、四肢の骨折
8	まとめ	

科目名	シミュレーション実習Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Simulation Training			総時間数	315	単　位	7
学　年	3	学　期	通年	曜　日	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	金村　諭司 喜代平　要一	実務者経験	32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定 29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	基礎を振り返り、想定訓練を行う。
到達目標	現場対応が十分にできる。また国家試験の症例問題に十分に対応できる。

準備学習 時間外学習	実技を各自で行う。
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版）、配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	想定訓練	シミュレーション
2	想定訓練	シミュレーション
3	想定訓練	シミュレーション
4	想定訓練	シミュレーション
5	想定訓練	シミュレーション
6	想定訓練	シミュレーション
7	体力訓練	
8	体力訓練	
9	想定訓練	シミュレーション
10	想定訓練	シミュレーション
11	想定訓練	シミュレーション
12	想定訓練	シミュレーション
13	ガイダンス 想定訓練	堺市消防局ガイダンス シミュレーション
14	ガイダンス 想定訓練	堺市消防局ガイダンス シミュレーション
15	想定訓練	シミュレーション
16	想定訓練	シミュレーション
17	想定訓練	シミュレーション

18	想定訓練	シミュレーション
19	体力訓練	
20	体力訓練	
21	想定訓練	シミュレーション
22	想定訓練	シミュレーション
23	想定訓練	シミュレーション
24	想定訓練	シミュレーション
25	想定訓練	シミュレーション
26	想定訓練	シミュレーション
27	想定訓練	シミュレーション
28	想定訓練	シミュレーション
29	想定訓練	シミュレーション
30	想定訓練	シミュレーション
31	体力訓練	
32	体力訓練	
33	想定訓練	シミュレーション
34	想定訓練	シミュレーション
35	想定訓練	シミュレーション
36	想定訓練	シミュレーション
37	想定訓練	シミュレーション
38	想定訓練	シミュレーション
39	想定訓練	シミュレーション
40	想定訓練	シミュレーション
41	想定訓練	シミュレーション
42	想定訓練	シミュレーション
43	想定訓練	シミュレーション
44	想定訓練	シミュレーション
45	体力訓練	
46	体力訓練	
47	想定訓練	シミュレーション

48	想定訓練	シミュレーション
49	想定訓練	シミュレーション
50	想定訓練	シミュレーション
51	想定訓練	シミュレーション
52	想定訓練	シミュレーション
53	想定訓練	シミュレーション
54	想定訓練	シミュレーション
55	想定訓練	シミュレーション
56	想定訓練	シミュレーション
57	想定訓練	シミュレーション
58	想定訓練	シミュレーション
59	特定行為	異物除去、特定行為
60	特定行為	異物除去、特定行為
61	特定行為	異物除去、特定行為
62	特定行為	異物除去、特定行為
63	特定行為	血糖測定、ブドウ糖投与
64	特定行為	血糖測定、ブドウ糖投与
65	特定行為	心停止前の輸液
66	特定行為	心停止前の輸液
67	PCEC	シミュレーション
68	PCEC	シミュレーション
69	PSLS	シミュレーション
70	PSLS	シミュレーション
71	想定訓練	シミュレーション
72	想定訓練	シミュレーション
73	想定訓練	シミュレーション
74	想定訓練	シミュレーション
75	想定訓練	シミュレーション
76	想定訓練	シミュレーション
77	想定訓練	シミュレーション

78	想定訓練	シミュレーション
79	想定訓練	シミュレーション
80	想定訓練	シミュレーション
81	想定訓練	シミュレーション
82	想定訓練	シミュレーション
83	想定訓練	シミュレーション
84	想定訓練	シミュレーション
85	想定訓練	シミュレーション
86	想定訓練	シミュレーション
87	想定訓練	シミュレーション
88	想定訓練	シミュレーション
89	想定訓練	シミュレーション
90	想定訓練	シミュレーション
91	想定訓練	シミュレーション
92	想定訓練	シミュレーション
93	想定訓練	シミュレーション
94	想定訓練	シミュレーション
95	想定訓練	シミュレーション
96	想定訓練	シミュレーション
97	想定訓練	シミュレーション
98	想定訓練	シミュレーション
99	想定訓練	シミュレーション
100	想定訓練	シミュレーション
101	想定訓練	シミュレーション
102	想定訓練	シミュレーション
103	想定訓練	シミュレーション
104	多言語演習	コミュニケーション能力の向上
105	多言語演習	コミュニケーション能力の向上
106	多言語演習	コミュニケーション能力の向上
107	多言語演習	コミュニケーション能力の向上

108	想定訓練	シミュレーション
109	想定訓練	シミュレーション
110	想定訓練	シミュレーション
111	想定訓練	シミュレーション
112	想定訓練	シミュレーション
113	国家試験対策	症例検討
114	国家試験対策	症例検討
115	想定訓練	シミュレーション
116	想定訓練	シミュレーション
117	想定訓練	シミュレーション
118	想定訓練	シミュレーション
119	国家試験対策	症例検討
120	国家試験対策	症例検討
121	想定訓練	シミュレーション
122	想定訓練	シミュレーション
123	国家試験対策	症例検討
124	国家試験対策	症例検討
125	想定訓練	シミュレーション
126	想定訓練	シミュレーション
127	国家試験対策	症例検討
128	国家試験対策	症例検討
129	想定訓練	シミュレーション
130	想定訓練	シミュレーション
131	国家試験対策	症例検討
132	国家試験対策	症例検討
133	想定訓練	シミュレーション
134	想定訓練	シミュレーション
135	想定訓練	シミュレーション
136	想定訓練	シミュレーション
137	国家試験対策	症例検討

138	国家試験対策	症例検討
139	想定訓練	シミュレーション
140	想定訓練	シミュレーション
141	想定訓練	シミュレーション
142	想定訓練	シミュレーション
143	国家試験対策	症例検討
144	国家試験対策	症例検討
145	想定訓練	シミュレーション
146	想定訓練	シミュレーション
147	想定訓練	シミュレーション
148	想定訓練	シミュレーション
149	国家試験対策	症例検討
150	国家試験対策	症例検討
151	国家試験対策	症例検討
152	国家試験対策	症例検討
153	国家試験対策	症例検討
154	国家試験対策	症例検討
155	国家試験対策	症例検討
156	国家試験対策	症例検討
157	国家試験対策	症例検討
158	国家試験対策	症例検討

科目名	救急用自動車・同乗実習Ⅱ			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Ambulance Training			総時間数	45	単　位	1
学　年	3	学　期	通年	曜　日	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	金村　諭司 喜代平　要一	実務者経験	32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定 29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	学内にある救急自動車を使用し、訓練する。 地域の消防本部にて同乗実習を行う。
到達目標	救急自動車内での対応ができる。

準備学習 時間外学習	実技を各自で行う。
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版）、配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	搬送法	メインストレチャーの曳行
2	搬送法	メインストレチャーの曳行
3	搬入、搬出	救急自動車への搬入と搬出を行う。
4	搬入、搬出	救急自動車への搬入と搬出を行う。
5	観察	救急自動車内での観察
6	処置	救急自動車内での処置
7	処置	救急自動車内での処置
8	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
9	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
10	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
11	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
12	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
13	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
14	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
15	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
16	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
17	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション

18	同乗実習	消防本部での同乗実習
19	同乗実習	消防本部での同乗実習
20	同乗実習	消防本部での同乗実習
21	同乗実習	消防本部での同乗実習
22	同乗実習	消防本部での同乗実習
23	同乗実習	消防本部での同乗実習

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine			総時間数	20	単　位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	後期	曜　日	水	時　限	5･6

担当教員	小笠　智嗣	実務者経験	1990年6月から整形外科医・救急救命医として病院勤務及び大学院にて研究し医学博士修得2000年におがさ整形外科開院。

学習内容	筋骨格系・皮膚系、熱傷電撃症化学損傷・異物溢頚刺咬傷、環境障害、の　総合的理解　と　最終的習得
到達目標	救急救命士として求められる知識を総合的に習得する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学・臨床医学各論の予習・復習が必要。
使用教材	教科書「救急救命士標準テキスト」（へるす出版）
留意点 備　考	解剖・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい

成績評価	国家試験模擬試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	総合救急医療１	筋骨格系疾患の総論、主要症候、基本的対応，　脊椎疾患　の　原因　病態　症状　診断　治療法　の　理解　と　習得
2	総合救急医療２	関節疾患、筋疾患　の　原因　病態　症状　診断　治療法　の　理解　と　習得
3	総合救急医療３	皮膚系疾患の総論、主要症候、基本的対応　の　理解　と　習得
4	総合救急医療４	皮膚・軟部組織の感染症、アレルギー疾患　の　原因　病態　症状　診断　治療法の理解　と　習得
5	総合救急医療５	気道異物・消化管異物・耳目鼻性器異物・縊頸　の　原因　病態　症状　診断　治療法の　理解　と　習得
6	総合救急医療６	哺乳類・爬虫類・節足動物・海洋生物による咬傷　の　原因　病態　症状　診断　治療法　の　　理解　と　習得
7	総合救急医療７	熱傷・化学損傷　の　病態・分類・主な症候・危険因子・緊急度重症度判断の方法・処置　の　　理解　と　　習得
8	総合救急医療８	電撃症・雷撃症・溺水　の　病態・分類・主な症候・危険因子・緊急度重症度判断の方法・処置　の　理解　と　習得
9	総合救急医療９	熱中症・偶発性低体温症・高山病　の　発生数の特徴　発生機序　分類　観察　処置　の　理解　と　習得
10	総合救急医療１０	減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・紫外線による障害　の　症状　分類　観察　処置　の　理解　と　習得

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	40	単　位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	後期	曜　日	火土	時　限	5･6

担当教員	呉　教東	実務者経験	日本救急医学会専門医・指導医 評議員（前）：日本救急医学会・日本臨床救急医学会・日本脳神経外傷学会

学習内容	過去の国家試験問題の解説、標準テキストの内容から作成した問題の自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準テキスト、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備　考	

成績評価	国家試験模擬試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	国家試験対策	過去の国家試験問題からB,C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
2	国家試験対策	過去の国家試験問題からB,C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
3	国家試験対策	過去の国家試験問題からB,C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
4	国家試験対策	過去の国家試験問題からB,C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
5	国家試験対策	過去の国家試験問題からB,C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
6	国家試験対策	過去の国家試験問題からB,C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
7	国家試験対策	過去の国家試験問題からA,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
8	国家試験対策	過去の国家試験問題からA,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
9	国家試験対策	過去の国家試験問題からA,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
10	国家試験対策	過去の国家試験問題からA,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	48	単　位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	後期	曜　日	木	時　限	5.6

担当教員	岸　正司	実務者経験	病院等で救急医療に30年携わる

学習内容	過去の国家試験問題の解説、標準テキストの内容から作成した問題の自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	該当内容の予習・復習が必要
使用教材	救急救命士標準ﾃｷｽﾄ改定第10版、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備　考	

成績評価	国家試験模擬試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
2	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
3	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
4	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
5	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
6	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
7	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
8	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
9	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
10	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
11	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
12	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
13	泌尿・生殖・内分泌疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
14	泌尿・生殖・内分泌疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
15	血液・免疫・アレルギー疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
16	血液・免疫・アレルギー疾患	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
17	その他	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
18	その他	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
19	意識障害	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
20	意識障害	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
21	外傷関係	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
22	外傷関係	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
23	中毒	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
24	中毒	過去の国家試験問題からC,D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	12	単　位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	後期	曜　日	期間中随時	時　限	5.6

担当教員	濵田　智子	実務者経験	病院等で歯科医師として診療・治療に10年以上携わる

学習内容	専門基礎分野の解説、標準テキストの内容、自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	該当内容の予習・復習が必要
使用教材	救急救命士標準ﾃｷｽﾄ改定第10版、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備　考	適宜小テストを実施

成績評価	国家試験模擬試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	炎症	定義・原因・分類に沿って復習し、自己の理解度を上げていくことが出来る。
2	免疫	防御機能・免疫の分類・免疫の流れに沿って復習し、自己の理解度を上げていくことが出来る。
3	感染、生化学	感染症分類・TCAサイクル・血液の分類・静止電位と活動電位
4	代謝系	糖尿病について
5	泌尿器系 酸塩基平衡	ネフロンについて、アルカローシス・アシドーシス
6	中毒	中毒の原因・種類 自己免疫疾患など、学生の苦手分野の総復習

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	30	単　位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	後期	曜　日	期間中随時	時　限	1.2.3.4

担当教員	金村　諭司 喜代平　要一	実務者経験	32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定 29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	過去の国家試験問題の解説、標準テキストの内容から作成した問題の自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	該当内容の予習・復習が必要
使用教材	救急救命士標準テキスト11版、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備　考	

成績評価	国家試験模擬試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	第1回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
2	第1回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
3	第2回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
4	第2回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
5	第3回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
6	第3回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
7	第4回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
8	第4回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
9	第5回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
10	第5回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
11	第6回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
12	第6回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
13	第7回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
14	第7回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
15	第8回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
16	第8回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
17	第9回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
18	第9回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
19	第10回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
20	第10回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
21	第11回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
22	第11回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
23	第12回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
24	第12回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
25	第13回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
26	第13回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
27	第14回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
28	第14回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど
29	第15回模試解説	模擬試験問題の疑問点の解説、標準テキスト復習
30	第15回模試解説	標準テキストをもとに復習及びグループワークなど

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	70	単　位	総合基礎Ⅲ すべてで17
学　年	3	学　期	通年	曜　日	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	中村　薫平	実務者経験	2020.4-関西学院大学　講師

学習内容	公務員採用試験の教養試験に際し、一般形式、ＳＰＩ－３方式、ＳＣＯＡ方式の全てに対応できるための学力を養う。 公務員採用試験の作文・小論文試験に際し、その作成表記指導を行う。
到達目標	公務員採用試験の教養試験に対応できる応用力を習得できる。

準備学習 時間外学習	講義終了後の復習は各自で必要
使用教材	プリント資料等
留意点 備　考	

成績評価	公務員模擬試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	ガイダンス	地方公務員採用試験　学習スケジュール説明、昨年度の傾向と今年度の対策説明等
2	数的推理分野 文章問題対応	和差算、平均算、集合算等
3	同上　割合と比の利用	濃度算、仕事算、損益算等
4	同上　速さに関する問題	速度算、通過算、流水算等
5	同上　確率に関する問題①	場合の数、順列、組合せ等
6	同上　確率に関する問題②	確率、期待値等、余事象の確率
7	同上　平面図形の性質①	平面図形の基本性質、相似の利用等
8	同上　平面図形の性質②	三角形の利用、円の性質等、円周角定理、接弦定理
9	同　　上	記数法、対称式、数列の解法等、Ｎ進数、等差数列、階差数列
10	判断推理分野	命題と集合、対偶、三段論法、部分集合、全体集合
11	同　　上	順序に関する問題
12	同　　上	真偽に関する問題
13	同　　上	対応関係に関する問題①
14	同　　上	対応関係に関する問題②
15	同　　上	方位・位置関係に関する問題
16	同　　上	平面図形の利用に関する問題
17	判断推理分野	立体図形の利用に関する問題、空間把握
18	自然科学分野　物理	エネルギー保存の法則　位置エネルギー、運動エネルギー
19	同　　上	等速運動、等加速度運動、物体の落下運動、水平・上方投射、移動距離
20	同　　上	波動；音と光の性質
21	同　　上	電気回路；電力と電力量、ジュールの法則
22	自然科学分野　化学	原子と分子、原子量、化学式の作り方
23	同　　上	気体の状態、気体の性質ボイル・シャルルの法則等
24	同　　上	酸と塩基、中和反応、炭素化合物の燃焼反応、電気分解等
25	自然科学分野　生物	植物の三作用、光合成等、植物細胞と動物細胞
26	同　　上	生物と遺伝、食物連鎖、メンデルの法則
27	自然科学分野　地学	地球の構造、大気の構造、気象現象等

28	同　　上	マグマの組成と性質、火成岩と堆積岩等
29	社会科学分野　政治	日本の政治の歴史
30	同　　上	日本国憲法　統治行為、権力分立、地方自治
31	同　　上	基本的人権、包括的基本権、新しい人権
32	社会科学分野　経済	戦後の日本経済の推移、金融政策と財政政策
33	同　　上	国民経済と景気変動、国民所得と三面等価、所得の再分配
34	社会科学分野　経済	世界の地域経済の発展、ＥＵ、ＴＰＰ等地域経済協定
35	同　　上　時事問題	昨年度における時事問題

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	20	単　位	総合基礎Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	前期	曜　日	水	時　限	5･6

担当教員	南　雅子	実務者経験	1989年より医療系専門学校にて医療英語指導/医師、看護師、薬剤師への英語指導/予備校において教養科目の試験対策分析および指導

学習内容	公務員、社会人として求められる文章読解の知識を習得し、様々な実践問題の取り組みとその解説授業を通して、筆記試験に対応できる実践力をつけていく。
到達目標	さまざまな実践問題を解いていくことにより、問題に慣れ問題解法のポイントをおさえ、問題を解く力をつけていくようにする。

準備学習 時間外学習	一般教養問題に対応するために、これまでの言語の知識を見直すことが望ましい。
使用教材	プリント教材
留意点 備　考	授業以外で取り組める教材プリントの配布をするので、各自多くの問題を解くことを勧める。

成績評価	

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	総合基礎Ⅲ　1	現代文演習(内容把握、空所補充、整序問題)/四字熟語/漢字問題/英語文章問題/対義語 文章理解一特に内容把握問題解法のポイントを正しく抑えることができる。
2	総合基礎Ⅲ　2	現代文演習(整序問題、内容把握)/漢字問題/文法問題/英語会話問題の理解 文章理解一特に整序問題解法のポイントを正しく抑えることができる。
3	総合基礎Ⅲ　3	現代文演習'空所補充、内容把握)/熟語問題/同意語/英語長文問題/英文法(前置詞、接続詞) 文章理解一特に空所補充問題解法のポイントを正しく抑えることができる。
4	総合基礎Ⅲ　4	英語会話問題/よく出る英語問題/現代文解練習問題/漢字関連問題/敬語、謙譲語 英語会話問題の練習により問題に慣れ、解法のポイントを理解することができる。
5	総合基礎Ⅲ　5	英語文理解(内容把握)/現代文練習問題/ことわざ/漢字の読み方問題/同音異義語/助詞 英語長文問題の練習により問題に慣れ、解法のポイント理解することができる。
6	総合基礎Ⅲ　6	現代文総合問題(内容把握/整序問題/空所補充)/ことわざ/英語総合問題(文章、文法) 総合問題を解くことにより、全体の時間配分などをつかむことができる。
7	総合基礎Ⅲ　7	要旨把握問題強化/英語理解問題強化/SPI問題対策/言語能力問題対策 現代文における要旨把握問題の文章の理解力を高めるようにする。
8	総合基礎Ⅲ　8	実践総合問題(現代文、英語、漢字問題、文法問題)/敬語、謙譲語まとめ/英語空所補充問題 総合問題の解法、解説を通して文章理解問題解法力の強化を目標とする。
9	総合基礎Ⅲ　9	実践総合問題(現代文、英語、漢字問題、文法問題)/ 言語能力問題/英語空所補充問題 総合問題の解法、解説を通して文章理解問題解法力の強化を目標とする。
10	総合基礎Ⅲ 10	まとめ学習一現代文内容把握、整序問題、空所補充、漢字問題/英語長文、会話/文法問題 文章理解の問題の見直しをすることで、総合的な問題解法力をつけることを目標とする。

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	20	単　位	総合基礎Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	前期	曜　日	木,土	時　限	5･6

担当教員	岡井保千代 白井　弘子	実務者経験	【岡井先生】 企業・公共機関・教育機関で約30年就職支援の講師（筆記試験対策、応募書類作 成、小論文、面接対策）、および大学等でキャリアカウンセリングを実施している。 【白井先生】 企業・公共機関・教育機関で約12年就職支援の講師、および キャビンアテンダント養成講座・就職支援を実施している。

学習内容	自己分析、エントリーシートの書き方、企業研究の仕方、自己ＰＲ・志望動機作成、面接マナー、面接答え方のポイント、 模擬面接（個人面接、集団面接）、グループディスカッション面接
到達目標	・志望する行政、企業の内定を取るために、就活の流れおよび準備内容を理解し、書類作成、模擬面接を体験し、習得する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	・ＡＣオリジナルプリント
留意点 備　考	

成績評価	実技（グループディスカッション・集団模擬面接）

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	就活の流れ 自己分析	・就活の流れや就活に向けて準備することのポイント ・自己分析の重要性
2	自己分析	・パーソナルヒストリーシート　・パーソナルデータシート　・美点凝視 ・自己PR、学チカ組み立てシート（できなかった人は宿題）
3	ｴﾝﾄﾘｰｼｰﾄ作成	・エントリーシートの書き方ポイント　・良いエントリーシート、悪いエントリーシート ・自己PR文と学生時代に頑張ったことを４００字詰め原稿用紙に作成する（講師添削）
4	志望動機作成	・企業研究の重要性と研究の方法　・志望動機の書き方とポイント・良い志望動機、悪い志望動機 ・４００字詰め原稿用紙に志望動機を作成する（講師添削）
5	面接マナー	・求められる人物像　・第一印象の重要性（みだしなみ、お辞儀、表情、挨拶） ・入退室マナーのロールプレイング
6	面接の受け答え	・質問に対する感じの良い答え方と面接会話の留意点・エントリーシート、志望動機を完成させる（講師添削）・面接でよく聞かれる質問例の答えを準備する
7	模擬面接 個人面接	・３人一組で模擬面接実施（面接官、受験者、評価者） ・エントリーシート、志望動機の見直し　・面接でよく聞かれる質問例の体験
8	模擬面接 集団面接①	・面接官グループ、受験者グループ、見学グループの３つに分けて実施 ・評価シートの書き方　・講師からの個別評価および全体総評
9	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ 面接	・グループディスカッション面接の概要　・役割分担、進め方、テーマ例、ポイント ・ショートディスカッションの実施（討論型）　・ディスカッションの実施（コンセンサス型）
10	模擬面接 集団面接②	・面接官グループ、受験者グループ、見学グループの３つに分けて実施 ・個別評価および全体総評　・①で受けた評価が改善されているかチェック　・全体のまとめ

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	40	単　位	総合基礎Ⅲ すべてで10
学　年	3	学　期	前期	曜　日	金	時　限	5･6

担当教員	植田　重幸	実務者経験	

学習内容	自分をとりまく社会・文化・自然を言語系学習を通して学び、聞く・読む・書く力をつける
到達目標	自分と自分を支える社会と自然について、自らの言葉で語り、綴る力をつける

準備学習 時間外学習	日常生活の中で自分の長所・個性・得意点を発見し、自覚的に伸ばす努力をする
使用教材	テキストSPI3、論文・論説文・記録文・新聞・雑誌、文学作品（小説・随筆・日記・紀行文等）
留意点 備　考	毎時間ごとの小テスト（読字・音読・読解）、提出物（要約・気づき短文・作文・小論文）

成績評価	

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	文章と読解	様々な種類の文章を通読し、分析力・読解力を養う
2	文章と読解	様々な種類の文章を通読し、分析力・読解力を養う
3	文章と要約	様々な種類の文章を読解し、本質を要約する（主述）
4	文章と要約	様々な種類の文章を読解し、本質を要約する（主述）
5	文章と論理力	発想力を育てる（マインドマップ・連想トレーニング等々）
6	文章と論理力	発想力を育てる（マインドマップ・連想トレーニング等々）
7	論理力とことば	①話の筋道をたてる
8	論理力とことば	②物事を関連づける力を育てる
9	論理力と演習	話の筋道を立て、物事を関連づける作文、小論文を書く
10	論理力と演習	話の筋道を立て、物事を関連づける作文、小論文を書く
11	自分に関することがら	国家試験、地方公務員試験のテーマの学習
12	自分に関することがら	国家試験、地方公務員試験のテーマの学習
13	演習①	全国の既出課題から、自分に必要なものを選択して、作文、小論文を書く
14	演習②	全国の既出課題から、自分に必要なものを選択して、作文、小論文を書く
15	専門知識について	国家・国民的テーマ「釜石の奇跡」と「大川小の悲劇」比較研究
16	専門知識について	国家・国民的テーマ「釜石の奇跡」と「大川小の悲劇」比較研究
17	比較研究演習	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く
18	比較研究演習	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く
19	時事問題について	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く
20	時事問題について	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く